

幼保連携型認定こども園「大和こども園」

令和4年度事業計画

園長：池田 巧 / 副園長：桶田かおる

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

しっかりした子

- ・人に思いやりを一明るさ・やさしさ（なでしこ）
- ・きびしさを自分に一がまん強さ・やる気（松）

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画		空調等 改修工事完了		屋上園庭事業 公用車買い替え	

●人事計画目標

- ・若手の育成を念頭に OJT 及び県内外への視察研修を実施し実践力を高める。
- ・園内研修及びカンファレンスを生かした資質向上を図る。
- ・職員育成・評価シートと連動した面談から、キャリアパスフレームに基づいた意識の向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的な受講を勧め、一人一人へのキャリアの構築を図る。
- ・幼稚園免許の取得・更新を推進する。

●業務の改善

- ・月4h以上のノンコンタクトタイムの確保
- ・効率化のための ICT 化の推進

●休日保育

- ・令和3年度より実施。

●収支計画目標

- ・適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・教育保育課程の重点を子どもの本来の特性を生かす観点から見直し、子どもが遊び込める姿を目指す。
- ・教育保育課程の重点から月目標を焦点化することで、生活全体を通して様々な価値ある体験が積み重なるよう計画的に実践する、
- ・年間の教育・保育計画を基に、5つの領域の内容が総合的に含まれるよう配慮し、知識・技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力や人間性といった資質・能力を育む。
- ・小学校との円滑な接続となるよう子どもの様子を「10の姿」を通し、意見交流を図る。
- ・毎日の実践記録の継続から、子どもの育ちを確認し、意図的・計画的な保育の展開の定着を図る。
- ・運動会や生活発表会等の行事への取り組みの中で「主体的・対話的で深い学び」のプロセスを重視することで、日々の保育の充実を図る。

●食育計画

- ・保育者と連携・協力し、健康な生活の基本として食を営む力を育て、食への関心や態度を養い、望ましい食習慣の育成を図る。
- ・子どもが生活や遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ねられるよう全職員が協力し、食育活動の創意工夫を図る。

●保健衛生計画

- ・子ども一人一人の成長発達を把握し、身体的・精神的変化を見逃さず、対応を行う。
- ・保育室内の環境衛生を整え、感染症を予防する。

●外国籍児童対策

- ・ブラジル国籍児への対応としてポルトガル語の通訳翻訳担当専任職員を配置し、異文化理解のもとに支援を行う。

●地域との連携

- ・豊かな生活体験を得られるよう地域の資源を活用する。
- ・情報誌の発行を含め、地域の関係機関と連携し子育て支援を行う。
- ・災害時の協力や交流活動への参加を図る。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ,副園長・教頭配置,学級編成調整,3歳児配置改善,満3歳児対応加配(未定),チーム保育加算,通園送迎,給食実施,講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,事務職員配置,事務負担対応加配,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費,第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進,入所児童処遇特別,施設関係者評価,小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
休日保育	適用あり	R3年度より実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	分園で実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用あり	通訳配置

●小松市単独保育事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	該当なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	319,000円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号 認定				5	5	5	15	240
				5	5	5	15	
2号 認定				40	40	40	120	▲35
				39	32	33	104	
3号 認定	30	35	40				105	(79.6%)
	8	28	37				72	

幼保連携型認定こども園「松陽こども園」

令和4年度事業計画

園長：森 都 / 教頭：大西 千鶴

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心身ともに健やかな子ども」

げんきなからだ・やさしいところ・がんばるちから

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画	駐車場夜間照明設置		園庭改修工事 (企画・プランニング) ICT化	・園庭 改修工事 ・ICT化	

●人事計画目標

- ・職員研修規程の積極的運用により資質向上を計る
- ・キャリアアップ研修等の計画的受講により職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・園内研修を通して同僚性・専門性を高める。
- ・優秀な人材確保

●収支計画目標

- ・定員を守り加算などによる収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもが安心感と信頼感をもって活動に取り組めるよう、子ども一人一人に思いを寄せ「心の土台」を育む。
- ・子どもが心動かされているものをしっかりと捉えてより良い環境をつくり、子どもが自発的・主体的に遊ぶ中で「生きる力の基礎」を育む。

●食育計画

- ・食を通して、子どもたちが人とのつながりを大切にしたり、食材に関心を持ったりし、感謝の気持ちや命を大切にする力を育てる。
- ・さまざまな食育活動の中で食べることを楽しみ、食と生命のかかわりや自然の恵み、調理する人へ感謝の気持ちや命を大切にする気持ちを育てていく。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の身体や健康に関心を持ち、病気の予防など必要な活動を推進する。
- ・園内の衛生環境を整え、感染症の予防をはかる。

●子育て支援計画

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施により地域の子育てを支援する。

- ・交流の場に出ることができない親子への支援

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の強化を図る。
- ・地域の方々(畑の先生他)との交流活動をさらに充実させる。
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、地域に開かれた園として情報発信を積極的に行っていく。

●小学校との接続・連携

- ・小学校との交流会、保育参観、授業見学などを通して連携を図り、更なる関係性を構築していく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ,副園長・教頭配置,学級編成調整,3歳児配置改善,満3歳児対応加配(未定),チーム保育加算,通園送迎,給食実施,講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,事務職員配置,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費,第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進,入所児童処遇特別,施設関係者評価,小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用あり	通訳配置

●小松市単独保育事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施予定
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	180,000円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号 認定				5	5	5	15	155
				5	6	2	13	
2号 認定				25	25	30	80	132
				16	23	20	59	
3号 認定	20	20	20				60	(85.1%) 対前年 ▲12
	4	26	30				60	

幼保連携型認定こども園「月津こども園」

令和4年度事業計画

園長：荒井 早苗 / 教頭：向 春代

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

心身ともに健康な子ども 自然を大切にする子ども

自分で考えて行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画				大プール日 よけ設置	チャレンジキッズ の交換

<備考>

子どもの安全と環境を整える。(補助事業助成金を有効活用)

●人事計画目標

- ・職員研修規程に基づき資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・ノンコタクトタイムの取得の徹底。

●収支計画目標

- ・地域の実情に合わせ定員減とする。適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・小学校以降の発達を見通しながら教育及び保育において「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」遊びを通して一体的に育てていく。
- ・園児が自ら興味や関心を持って環境に取り組み、試行錯誤を経て、環境への関わり方を身に付けていく。園児一人一人が主体性を発揮して活動を展開し、充実感や満足感を味わうことができるようにする。

●食育計画

- ・豊かな食の経験を積み上げ、食べ物大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を楽しむ。
- ・食事のマナーを身につける。
- ・お味見当番を経験し、食のプロセスに関わり、五感を引き出し、興味を持つ。また、食を味わい、表現し、友達に伝えることで感覚が豊かになっていく。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進に努める。
- ・疾病等(体調不良児・感染症対策)への対応。特に新型コロナウイルス感染症に関しては徹底した対策を継続していく。家庭への協力等も随時発信していく。
- ・子どもたちに向けた健康支援を行うことにより、自分の体や健康に興味・関心を持てるようにする。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て家庭への支援(交流の場の提供が難しいならば電話やメールなどを使って、育児相談など行っていく。情報紙の配布)

●地域との連携

- ・災害時における月津校下との協力体制を図る。
- ・地域の方との交流活動の充実。(リトミック、和太鼓)野菜等の栽培の手伝い
- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●小学校との接続・連携

- ・小学校とは交流会、授業見学などを通して連携を図り、更なる関係性をコロナ禍の動向を見ながら構築していく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ,副園長・教頭配置,学級編成調整,3歳児配置改善,満3歳児対応加配(未定),チーム保育加算,通園送迎,給食実施,講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,事務職員配置,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費,第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進,入所児童処遇特別,施設関係者評価,小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用あり	在籍予定

●小松市単独保育事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000 円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	168,000 円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	135 対前年 ▲10
				3	7	5	15	
2号認定				15	25	25	65	113 (83.7%) 対前年 ▲12
				16	22	19	57	
3号認定	15	20	20				55	41
	2	16	23				41	

幼保連携型認定こども園「中海こども園」

令和4年度事業計画

園長：片桐 真二 / 副園長：清水 啓子

★中長期計画

●教育保育目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある優しい子ども
- ・自分で考え、進んで行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画					

<備考>

●人事計画目標

- ・報告、連絡、相談を重視して組織力を高める。
- ・教育・保育の質の向上に向けて人材育成を図る。
- ・コロナ禍のため、2年続けて受審を見送った第三者評価の受審を予定し、受審によりサービスの向上を目指す。

●収支計画目標

- ・1号認定の定員が割れないよう確保していく。
(定員数を105名から85名に変更する)
- ・無理、無駄なく計画的な予算執行に留意する。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもの主体性を生かした教育・保育を推進する。また、これを通して人材育成を図る。
- ・地域の環境や連携を生かした教育・保育を推進する。

●健康支援

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進める。
- ・疾病等への対応（体調不良児等、感染症対策、個別ケア等）と新型コロナウイルス感染症対策を継続する。

●食育の推進

- ・野菜栽培や調理の体験等、食に関わる体験を積極的に取り入れるとともに、地元で採れた野菜の提供を心がけ、食や食材に関する興味や関心、感謝の気持ちを育む。

●子育ての支援

- ・子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、メールや電話を利用しての育児相談、また、一時保育やプレ保育などを利用しての支援を行っていく。情報誌を発行する。

●地域との連携

- ・教育保育に地域との交流活動や地域の環境資源を取り入れる。地域文化の継承（仏御前、剣舞）を大切にする。
- ・災害時における地域との協力体制を図る。町内の避難訓練に参加する。（園長・副園長・主幹）

●小学校との連携・接続

- ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向け、それぞれの教育の相違等について相互理解を図る。
- ・子どもたちの小学校生活への不安をやわらげ期待を持てるように子ども同士の交流を図る。
- ・園長と小学校長間の情報交換を図る。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ,副園長・教頭配置,学級編成調整,3歳児配置改善,満3歳児対応加配(未定),チーム保育加算,通園送迎,給食実施,講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続、第三者評価受審

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独保育事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	122,000円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	85 対前年▲20
				4	4	6	14	
2号認定				10	13	13	36	66 (77.7%) 対前年▲5
				9	12	8	29	
3号認定	8	11	15				34	
	3	11	9				23	

幼保連携型認定こども園「蓮代寺こども園」

令和4年度事業計画

園長：堂前 弘美 / 教頭：宮越 洋美

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

- 「健康な心と体」
- 「あふれる意欲と好奇心」
- 「豊かな感情と道徳性」

●施設整備計画

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画	基本計画 小型バス導入	実施設計 園舎新築工事 防犯カメラ		赤ちゃん駅推進事業	

●人事計画目標

- 幼稚園教諭免許取得、保育士資格取得の推進。
- 処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
- 職員研修規程の積極的運用、キャリアアップ研修の計画的受講等により職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。
- OJTの実施による若手職員の育成。

●収支計画目標

- 園児数の確保、職員の適正配置による加算、補助金の確保。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- こども一人一人の、周りの大人への信頼感や自分への自己肯定感といった心の土台(安全)を育み、環境を通して考え意欲を持って主体的に活動し、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)子どもも主体の活動により、学びに向かう力(意欲・好奇心・協調性・粘り強さなど)を育てる。
- 「新しい生活様式」に十分配慮した教育・保育の実践により子どもの健やかな学びを保障する。
- 持続可能な社会作りの担い手として、生活や遊びを通した身近な体験や活動(ESD)から、SDGsの目標を目指そうとする意識の芽生えを育む。

●食育計画

- 年齢に応じた食事のマナーを身につける。
- 様々な体験を通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- 地元で採れた野菜の提供等、地産地消を推進する。
- 発達段階に応じた豊かな食の体験を重ねることにより、一人一人の子どもの食を営む力を育み、豊かな心と体を育てる。

●保健衛生計画

- 子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- 子どもたちが自分の健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
- 「新しい生活様式」を実践するために感染症対策を徹底し、子どもたちへの指導、積極的な情報発信による家庭への協力の呼びかけ等を行う。

●子育て支援計画

- 保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を支援する。
- 地域の関係機関等と連携及び協働し園体制の構築に努める。
- 子どもと保護者のニーズに応えた多様な事業・活動の展開(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、保育参加等)
- 地域の子育て支援センターとしての機能を果たす。(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供)

●小学校との連携・接続

- 学校見学、交流会(1年生)、連絡会等により積極的に連携を図る。

- 小学校教諭の保育見学や話し合いにより、幼児教育への関心と理解につなげる。

●地域との連携

- 災害時における地元町内との協力体制の構築。
- 地域の方々(太鼓の先生他)との交流活動の充実及び地域文化の継承。(蓮代寺太鼓・がめつき音頭他)
- 情報誌を作成・配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。
- 施設や設備を有効活用した地域の高齢者等との交流計画の策定。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ,副園長・教頭配置,学級編成調整,3歳児配置改善,満3歳児対応加配(未定),チーム保育加算,通園送迎,給食実施,講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,事務職員配置,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費,第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独保育事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブツキーランド協賛支出	122,000円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号認定				5	5	5	15	95
				4	5	2	11	
2号認定				12	13	13	38	▲10
				15	14	9	38	
3号認定	10	15	17				42	(87.4%)
	4	17	13				34	

大和こども園分園「やざき乳児保育園」

令和4年度事業計画

園長：池田 巧(兼務) / 副園長：出村 裕美

★初期計画(3ヶ年計画)

●教育保育目標

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・豊かな感性をもった子ども
- ・心やさしく思いやりのある子ども

●施設整備計画

年度	R3	R4	R5
計画			園庭遊具購入

<備考>

●人事計画目標

- ・優秀な人材の確保(途中採用含む)。
- ・職員研修規程の積極的運用により資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・幼稚園教諭免許取得、保育士資格取得の推進。

●収支計画目標

- ・園児数確保の努力により増収をはかる。

★単年度事業計画

●保育計画

- ・健康で安全な環境を整えて子どもの様々な欲求を満たし、子ども一人一人が安心して過ごせるようにする。
- ・家庭的な雰囲気の中で一人一人の子どもとの温かいふれあいを大切にし、心地よく過ごせるようにする。
- ・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。
- ・受容的、応答的な関わりの中で、人に対する愛情や信頼感、生きる喜びを育む。

●食育計画

- ・個人差に応じて授乳、離乳を進め、健やかな発育、発達を促す。
- ・安定した生活リズムの中で様々な食品や調理形態に慣れ、食べることの喜びを感じられるようにする。
- ・地産地消を心がけ、安心、安全な食を提供する。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進。
- ・疾病や感染症が疑われた時の適切な対応。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、感染予防対策を徹底していく。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域の子育て家庭への支援を行っていく。(交流の場の提供、育児相談や情報提供等の援助、子育てに関する育児講座等の実施)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善加算Ⅰ
	未実施	通園送迎,外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援,処遇改善加算Ⅱ,冷暖房費,栄養管理,処遇改善臨時特例加算
	未実施	指導充実加配,除雪費,降灰除去費,第三者評価受審
3月事業報告		施設機能強化推進、高齢者等活躍促進、施設関係者評価

●小松市単独保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	実施
地域子育て支援拠点事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	マイ保育園	状況により実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

小松市/元気っ子こまつ	50,000 円/年	実施予定
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	34,000 円/年	前年実績

★定員と入園状況(下段は4月入園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	合計
	6	11	12	29
3号認定	3	11	1	15 (51.7%) 対前年 +10

放課後児童クラブ「芦城児童クラブ」

令和4年度事業計画

所長：田中琴乃

★中長期計画(5ケ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められる体験
- ・共感される体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。

★単年度事業計画

●生活環境を整える

ソーシャルディスタンスを意識し、感染予防対策をしながら、子どもたちが安心して、活動できる場となるよう空間や設備、備品等の配置や構成を工夫する。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能になるように支援していく。

- ・学年に応じた行事の企画
- ・遊び仲間づくりへの援助
- ・縦割りのグループを作り上級生のリーダー性を育てる

●コミュニケーション力を高める

一人一人の違いを理解し、豊かに言葉を使って仲間と交わることができるように支援していく。

- ・こどもせんりゅう（表現力）
- ・読み聞かせ（聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上を目指し、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

子どもに関する情報を家庭と共有することにより、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・アプリを活用した、お便りやお知らせの配信、連絡のやり取りやアンケートの実施
- ・必要に応じた面談
- ・ホームページで毎月の児童の様子を知らせる

●学校・関係機関との連携

子どもに関する情報を学校と共有し、関係機関による定期的訪問により、気になる子どもについての話し合いを行い適切な支援を実施する。

- ・学期ごとに学校との情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
・基礎(額)事業	児童数 45	児童数 45
・開設予定日数	年 291 日	
・長時間開設(平日)	6.5 時間/日 超開所/30 分以上	
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8 時間以降開所/11.5 時間開所(+3.5 時間)	
・障がい児受入促進(国・県)	1 名	1 名
・支援員等処遇改善	18 時 30 分以降開所と処遇改善実施	
・障がい児受入強化推進	3 名以上受入なし	3 名以上受入なし
・開所時間延長促進	12 時 30 分～19 時開所	
・キャリアアップ処遇改善	4 名	3 名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
・指導員複数配置促進	障がい児 2 名以降	
(障がい児受入促進)	1 名	1 名
・開所時間延長促進	12 時 30 分～19 時開所	

★定員と入所予定状況 (1/31 現在)

学年	定員等	芦城児童クラブ 1	芦城児童クラブ 2
		定員 45 名	定員 45 名
1 年生		20	20
2 年生		20	25
3 年生		15	17
4 年生		5	3
5 年生		1	1
6 年生		0	1
計		61	67

放課後児童クラブ「蓮代寺児童クラブ」

令和4年度事業計画

所長：竹下 沙知

★中長期計画(5ヶ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められるという体験
- ・共感してもらえる体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

・経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。放課後児童支援員認定資格の取得等

★単年度事業計画

- ・保護者との信頼関係の構築

●生活環境を整える

子どもが安心して過ごせる生活の場として、ふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら、子どもが自ら危険を回避できるように支援していく。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

子どもの発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全育成を図るよう支援する。

- ・子どもたちが主となる行事の計画
- ・季節に応じた行事の計画
- ・遊び仲間づくりへの援助

●コミュニケーション力を高める

子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助する。

- ・読み聞かせ（表現力・読む力・聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上をめざし、自己研鑽に励み、研修に参加する。

- ・毎日の打ち合わせによる子どもに関する情報の共有
- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

常に保護者と密接な連携をとり、放課後児童クラブにおける子どもの様子を日常的に保護者に伝え、子どもに関する情報を家庭と共有することにより、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・おえ時の声掛け
- ・お便りの発行
- ・ホームページ、コドモンの活用

●学校・関係機関との連携

子どもの生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等によって子ども理解を深める。

- ・学校と年4回以上の情報交換会を行う
- ・関係機関等による定期訪問

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・基礎(額)事業	児童数 25名
・開設予定日数	291日
・長時間開設(平日)	6.5時間/日超開所/30分以上
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8時間以降開所/11.5時間開所 (+3.5時間)
・障がい児受入促進(国・県)	1名
・支援員等処遇改善	18時30分以降開所と処遇改善実施
・障がい児受入強化推進	3名以上受入なし
・開所時間延長促進	12時30分～19時開所
・キャリアアップ処遇改善	3名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2名以降
	1名
・開所時間延長促進	12時30分～19時開所

★定員と入所予定状況 (1/31現在)

学年	定員等	蓮代寺児童クラブ
		定員 25名
1年生		15
2年生		10
3年生		11
4年生		0
5年生		1
6年生		0
計		37

中高年齢者生涯学習講座「大和ぬくもり大学」

令和4年度事業計画

学長：朝岡 明美 / 館長：広川 保(兼務)

★中長期計画(5ヶ年計画)

●成り立ち

昭和19年6月に大和善隣館が開設され、小松市における福祉と文化・教育の拠点施設として多彩な活動を展開してきた。また、小松市より「小松市中央老人福祉センター」事業を受託し、大和善隣館において管理運営。中高年齢者の健康、就労等の相談、健康増進や教養の向上などの生活福祉の向上に努めていく。

●大和ぬくもり大学の設置

近隣地域における健康な中高年齢層を対象にその生活の向上と改善をはかるため、「であい・ぬくもり・ささえあい」を目標に利用者の生きがい創出を目指して、「大和ぬくもり大学」を設置している。今年度も教養・文化・体育部門にかかわる16講座3クラブを開設する。(令和4年1月現在)。

●常勤職員1名体制へと変化したことにより、事業の自由性・拡張性は阻害されてきたが、この機会に講座の独立性と講師・受講生の自主性が発揮できる講座へと転換期をはかってきた。

※主催講座の独立、講座→クラブへの変更など

●少子高齢化が進み、就業人口減少が叫ばれる現在、高齢者就業制度が推進され、定年70歳の時代がすぐそこまで迫っている。

「大和ぬくもり大学」事業を継続の必要性と、維持できる体制構築を常に検討していく。

●相談コーナーについて

小松市中央老人福祉センター委託事業である中高年齢者の生活福祉相談について、これまで本部機能との共存で社会福祉主事等の配置を実施できたが、単独運営時の相談事業についての質の低下は免れない。昨今の相談件数の減少の中で、当事業の在り方を引き続き検討する。

●新型コロナウイルス感染予防対策とその後

・昨年11月に歌謡民謡講座が歌謡曲クラブにリニューアルし再開したことにより全講座がコロナ渦で事業を行っている。ただし、感染状況を踏まえた運営が必要である。

また、コロナ終息時の新事業展開(新講座、新クラブ)や法人他事業との連携を意識した動きも検討していきたい。

●大和ぬくもり大学の講座

開設講座	講師名	開講日
料理	江前 恵子	第1.3(金)午前
社交ダンス	関 武弥	毎週(火・木)午後
茶道	大橋 みどり	第2.4(水)午前
華道	伊藤 精幸	第1.3(水)午後
俳句	有賀 三枝子	第2(木)午後
歴史	山前 圭祐	第4(木)午後
書道	有賀 虹萌	第1.3(水)午前
詩吟	辻 岳絢	毎週(金)午後
歌謡舞踊	千田 もと子	毎週(火)午前
水彩画	曾我 章	第1.3(火)午前
パソコン	出口 美子	第1.3(金)午前・午後
小さな水彩画	曾我 章	第1.3(木)午後
ぬくもりヨガ	中嶋 美雪	第2.4(金)午後
陶芸	寺門 俊郎	第2.4(木)午後
リズムダンス	水高 敦子	毎週(水)(金)午後
加賀水引	水谷 絹代	第2(火)午前
合唱クラブ	朝岡明美・太田雪江 手取屋範子	第1.3(土)午前
囲碁クラブ		毎週(火)午後
歌謡曲クラブ		毎週(水)午後

本部事務局

令和4年度事業計画

事務局長：広川 保

★中長期計画(5ケ年計画)

●法人理念の再確認

「善隣のこころ」

「いつでも どこでも そしてだれにでも

われ等善き善隣たらん」

先人が遺したこの想いを後世に伝えるために、その時代でのこの理念が持つ意味や価値を再考しながら、職員や児童・保護者等利用者に理解してもらえる事業を遂行していく。

●大和善隣館ブランドの浸透と確立

・昨年度に引続き、ブランドの浸透と確立を1つ大きな軸として考えていきたい。小松市内において、平成30年の「中海こども園」「蓮代寺こども園」の民営化、令和1年度「蓮代寺児童クラブ」の指定管理受託、そして令和3年4月「やざき乳児保育園」開園と、法人の規模が3年間で2倍に拡大した。しかし、事業規模が大きくなりながら、大和善隣館のブランドの浸透と確立が出来ていないと痛感する。我々法人としてのブランディング不足感は否めないが、役職員一人一人の法人運営に対する意識の変革も必要であり、今後は更に粘り強く法人をPRすることによって、必ず実が結ぶ時が訪れると信じ、引続きブランド力の向上に努める。利用者や求職者等から、教育保育施設と言えば、まず最初に『大和善隣館』と選ばれる法人にブランディングしていきたい。

・間もなく法人創立80周年を迎える。昨年度は「法人名称」及び「法人拠点」も変更し新たな気持ちで船出を迎えたが、この新鮮な想いを常に忘れることなく、先人の功績の上に確かな足跡を残し、大和善隣館として、80周年、90周年、そして100周年と胸を張って迎えるように法人を導いていきたい。

●今後の事業展開

・その他地域（金沢市・野々市市・能美市等）の動向を注視しながら、法人及び職員の地力を蓄えていくのが、これから数年の目標と課題となる。小松市内の民営化にて施設数及び職員数も増加したわけであるが、まだまだ力不足を実感することもあり、現在は地力を蓄える助走期間であると認識している。力を付け、人材確保と保育の質の確保に目途が立てば進出の機会を求めていくことも検討していきたい。

・少子化による急速な人口減少と団塊ジュニア世代が高齢者（65歳以上）となることで高齢者人口が最大となる問題「2040年問題」に直面することが想定されている。子ども・若年層が減少するなかでの人材確保や、事業展開についてもこれらの諸問題を念頭に置き検討していかなければならない。地域の人口・世帯数の減少、地域に応じた福祉ニーズの相違等を考慮し、対応していきたい。

●奨学金貸与事業

・福祉人材育成の応援資金として「奨学金貸与規程」制定、「定款」での公益事業認可を経て事業を開始。令和3年度に利用実績1件あったが、未だ奨学金事業が普及しているとは言い難く、奨学金制度の活用を促進すべく、引き続きPR活動を行っていき、特に県内在学生や出身学生への情報提供に注力する。

※新型コロナウイルス感染対策の措置を講じつつ、実習生や施設見学者等を積極的に受け入れ、人材の確保に努めたい。また、市内高等学校にも協力を依頼し、長期休暇期間を利用した

職場体験を計画し、学生等が保育業界へ進学する一翼を担う活動をしていきたい。

●職員採用・育成計画について(主に新卒者)

・採用計画において、奨学金制度の活用のほか、昨年度より取扱を採用した法人職員からの紹介制度、人材派遣や就職支援会社の活用により、「優秀な人材」の採用と育成に注力していきたい。

・キャリアパス規程に基づく、キャリアパスフレームの標準化と職員への周知徹底により、職員一人一人が自身のキャリアを長期的に捉えることにより、これが“事業の質”の向上につながるよう仕組みづくりと研鑽を行う。

・これまで新卒者のみ対象としていた「新規採用者育成計画」を若手職員全体の質の向上を図る観点より、令和3年度より3年目職員までに拡充させた。保育に関することだけではなく、社会人として当たり前のことを当たり前に実践できるよう外部研修や先輩職員（教育担当）との振返りも交え人材育成に努めていきたい。

●職員育成(主に中堅職員)

・将来管理職を志す職員に対し、育成担当者（主に管理職）が具体的な「育成プログラム」を作成し、育成・養成を行う。もちろん管理職候補者を育てあげることが1番の目的であるが、人材育成も管理職にとっては重要な求められる業務または役割であることを再認識してもらい良い機会と捉え取組を行う。法人全体で職員育成に取り組むことによって、職員の層を厚くし、自ら積極的に行動を起こせるような職員育成に注力していきたい。

●各施設における機能強化

・これまで本部機能強化として、法人ネットワークの確立、物品の一括購入、キャッシュレス決済の導入など新たな試みにより、事務作業の一段の効率化を進めることができた。これからは各施設の機能強化として、各施設が運営を進めていく上において、自分たちが如何に効率良く業務が出来るには何が必要で何が不要なのかを検証する必要がある。コロナ禍であらゆる取組が見直されるなか、施設の機能を再度確認・検証する良い機会と捉え、自助力を高める取組を行っていきたい。また、職員に関しても自分たちで施設を運営しているという自負を今後より一層強固なものとし、邁進していくよう心掛けていく。

●SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)宣言に対する取組

・当法人では令和3年4月1日にSDGs宣言をした。運営上最も該当するであろう6つのゴール（開発目標）に絞り宣言したわけであるが、宣言だけで満足するわけではなく、達成年限である2030年に向け、あらゆる取組を実践していきたい。既に実践した取組として、電気供給契約を「北陸電力アークア ECOプラン」に変更。水力発電100%、CO2排出量ゼロの環境保全に寄与した取組である。その他、車輛購入にPHEV車や会議等でのペーパーレス化、また、給食材料の食品ロス削減に努めている。

●法人中長期計画の更新

・2030年を目標期限にするSDGs宣言に絡めた「法人中長期計画」更新を実施する。目標期限と併せた中長期計画期間とし、法人の諸課題やSDGsの目標達成に向けた具体的な実施要項を策定。早期に取組めるものから、時間を要する項目まで多岐に渡り、計画期間内には全項目が達成となるよう努めていきたい。また、計画期限前にすべての目標が達成出来たときは再度更新を実施する。

●BCP(事業継続計画)策定

・自然災害等の緊急事態に遭遇した場合に備え、事業継続あるいは早期復旧を可能にするための方法、手段を取り決めておく「事業継続計画」を今年度策定する。